

事業所における自己評価表（公表）  
（児童発達支援）

公表：令和 5年 3月29日

事業所名 上ノ国町子ども発達支援センター

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	○		・活動によって遊具などの配置を考えている。 ・活動内容によって部屋の使い分けをしている。	・利用児の状況や活動内容によって部屋を使い分けるなど、適切なスペースの確保に努めます。また、物品や教材も利用児が使いやすい物となるよう工夫していきます。
	②	職員の配置数は適切であるか。	○			・職員は、法令基準に基づき適切に配置しております。今後も研修会などに参加し、職員の資質向上・専門性を高められるよう努めていきます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	○		・利用児にとって何が必要で、どんな環境が過ごしやすいかを考え、個々に応じた環境整備を心掛けている。 ・パーティションや写真カード、机や椅子の工夫をしている。	・利用児の個々の状況を考慮し、適切な環境となるよう心掛けていきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・療育終了毎に換気や物品の消毒を行っている。	・清潔な空間を保つため、室内の換気及び物品の消毒を継続していきます。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・必要に応じて行っている。	・職員全体で情報を共有しながら、必要に応じた見直しなどを行っていきます。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	○		・年に一度アンケート調査を実施し、業務改善につなげている。	・年に一度実施している保護者向け事業所評価アンケートの結果は、職員間で確認し、日頃の業務改善につなげていきます。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	○		・年に一度事業所評価を実施し、その結果を上ノ国町ホームページにて公表している。	・職員間で話し合い、その結果を事業所としての自己評価とし、上ノ国町ホームページにて公表しています。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・第三者による外部評価は行っていない。	・外部評価を行っていませんが、職員間でその都度見直しをしながら業務改善に努めていきます。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	○		・オンライン研修に参加している。	・職員の資質向上を図るため、オンライン研修を含めた研修会などに積極的に参加していきます。
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・保護者との個別懇談などで状況を確認しながら作成している。	・アセスメントを行い、利用児と保護者のニーズや課題に沿った計画を作成するよう心掛けていきます。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	○		・事業所内で共通のアセスメントシートを使用している。	・事業所内で共通のアセスメントシートを使用し、利用児の状況把握に努めていきます。

適切な支援の提供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			・利用児の年齢や発達段階、特性などをふまえ、適切な支援内容を設定出来るよう努めていきます。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	○			・個別支援計画に沿った支援が行われるよう、定期的に確認し、必要があれば見直しをしています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・どんな活動内容にするか職員間で意見を出し合い決定している。	・職員間で情報を共有し、子ども達が楽しんで活動出来るようなプログラムを立案していきます。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・記録を見直し、プログラムが固定化しないよう配慮している。 ・同じ玩具でも使い方を覚えて遊ぶことで、違う面白さがあることを知ってもらえるよう取り組んでいる。	・支援内容を振り返り、その時々に必要な活動を取り入れつつ、プログラムが固定可しないよう心掛けていきます。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか。	○		・保護者の希望を考慮しながら組み合わせている。	・利用児や保護者の要望に沿った計画を作成するよう心掛けていきます。
	17	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	○		気づいたこと、確認しておく必要があることを出し合い、共有するよう心掛けている。	・朝の打ち合せなどで情報を共有し、必要な対応がいつでも出来るよう努めていきます。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	○		気づいたこと、確認しておく必要があることを出し合い、共有するよう心掛けている。	・気づいた点などは随時職員間で伝え合い、情報を共有するよう努めていきます。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			・今後も療育毎に記録することを徹底し、支援内容の検討・見直しをしています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	○		・半年に一度見直しをしている。	・半年に一度見直しを行い、適正な個別支援計画を作成するよう心掛けていきます。
	関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	○		・児童発達支援管理責任者や担当指導員等、適宜参加している。
22		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか。	○		・日頃から密に情報交換をするよう心掛けている。	・随時、関係機関と連携を図りながら取り組みを進めていくよう心掛けていきます。
23		（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか。	○		・現在、対象となるケースはないが必要に応じてケース会議を開催するなどしている。	・随時、必要に応じて検討していきます。
24		（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか。	○		・現在、対象となるケースはないが必要に応じてケース会議を開催するなどしている。	・随時、必要に応じて検討していきます。
25		移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・必要に応じて、随時ケース会議に出席するなどしている。	・必要に応じてケース会議を実施するなど、関係機関との連携に努めていきます。

26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・必要に応じて、随時ケース会議に出席するなどしている。	・必要に応じてケース会議を実施するなど、関係機関との連携に努めています。
27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	○			・必要に応じて関係機関と連携を図るよう努めています。
28	保育所や認定こども園、幼稚園等と交流をする機会があるか。		○	・併行通園をしている子が多いため、特に機会は設けていない。	・保育所などと併行通園している利用児が多いため、現在は特に交流の機会は設けていませんが、必要に応じて検討していきます。
29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		・児童発達支援管理責任者が参加する。	・児童発達支援管理責任者が各種会議などに参加していきます。
30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・個別懇談や送迎時の短い時間ではあるが保護者に療育の様子を伝えたり、家での様子を教えてもらうなど、共通理解につながるよう心掛けている。 ・書面にて療育の状況を伝えるようにしている。	・保護者との連携を密にし、利用児の状況や課題について共通理解が出来るよう努めています。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか。		○	・プログラム化された支援は実施していないが、随時必要に合わせて助言などを行っている。	・保護者向け学習会などの実施につきましては、今後検討していきます。
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			・利用前面談時や契約時に丁寧な説明を心掛けております。 ・ご不明な点などがありましたら再度説明をさせていただきますので、いつでもお声掛けください。
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			・「個別支援計画」を提示しながら説明し、同意をいただいております。今後も適正な計画を作成するよう心掛けていきます。
34	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		・その都度対応している。	・相談などにつきましては、随時個別に対応させていただいております。今後も迅速に対応するよう心掛けていきます。
35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。		○	・新型コロナウイルス感染症の感染予防の観点から、人が集まる機会は設けていなかった。	・共感し合い、認めてもらえる場は必要だと感じております。保護者が参加しやすい時間帯などを考慮し、今後茶話会などの開催を検討していきます。
36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・随時対応している。	・苦情などに関する相談体制につきましては、契約書に記載している他、玄関に掲示しております。相談などの申し入れがあった場合には随時対応させていただきます。 ・迅速かつ適切に対応するよう心掛けていきます。
37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・月に一度、園便りを発行しお知らせしている。	・毎月「ひまわり便り」を発行し行事予定などをお知らせしております。 ・必要な情報をお知らせ出来るよう努めています。

③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか。	○			・個人情報の取り扱いにつきましては、十分注意をするよう職員間で確認を徹底していきます。
③⑨	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・子どもの様子をよく観察し、必要な配慮を講じている。また、保護者とは話をしたり書面でのやり取りをしている。	・相手に伝わりやすい方法を探り、迅速に対応するよう心掛けていきます。
④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・特に実施していない。 ・上ノ国高校の生徒と交流する機会を設けている。	・地域住民を対象とした事業は実施していませんが、毎年上ノ国高校のボランティア局の協力を得て、高校生との交流の機会を設けております。今後も継続していきます。
④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・各マニュアルについては、毎月のお便りや掲示をするなどして周知している。また、職員は年に一度救命講習を受けたり、研修に参加している。	・各種マニュアルなどの周知につきましては、ひまわり便りにてお知らせする他、玄関に掲示しております。 ・職員間では、定期的に情報を共有するよう心掛けていきます。
④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・避難訓練を行い、反省点や改善点について職員間で共有している。	・年に数回、災害の発生を想定した避難訓練を実施しております。今後も継続して実施していきます。
④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		・通所前の面談や通所に関する書類にて随時確認している。	・保護者からの聞き取りを徹底していきます。
④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか。	○		・保護者に状況を確認し対応している。	・保護者からの聞き取りを徹底していきます。
④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	○			・気づいたことを記録し、必ず職員間で情報を共有するよう心掛けていきます。
④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・チェックリストや職場内研修などを実施し、日々の療育を見直す機会を設けている。	・半年に一度、チェックリストを用いて職員自身の行動を見直しております。今後も適切な対応に努めていきます。
④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			・身体拘束の必要がない利用児につきましては、個別支援計画に記載しておりません。 ・対象となり得る場合には、十分な検討を重ね決定していくよう努めていきます。

○ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。